

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)

【公開番号】特開 2005-260316 (P2005-260316A)  
 【公開日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-037  
 【出願番号】特願 2004-65300 (P2004-65300)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 N 5/445 (2006.01)**

**H 0 4 N 7/025 (2006.01)**

**H 0 4 N 7/03 (2006.01)**

**H 0 4 N 7/035 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N 5/445 Z

H 0 4 N 7/08 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 1 月 27 日 (2006.1.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

放送番組に関する番組情報を取得する番組情報取得手段と、

上記取得された番組情報に含まれる番組開始時刻及び番組終了時刻の少なくとも一方と、  
 上記取得された番組情報に含まれる番組文字情報を表示するために用いる文字フォント  
 の大きさに基づいて、上記番組文字情報を表示するための表示領域の時間軸方向の位置  
 と大きさを放送番組ごとに規定する番組表示領域規定手段と、

上記番組表示領域規定手段により規定された上記表示領域内に上記番組文字情報に基づ  
 く文字が挿入された電子番組表の表示用データを生成する電子番組表作成手段と  
 を有し、

上記番組表示領域規定手段は、

上記電子番組表の時間軸方向における 1 時間の長さを  $L_{1h}$  とし、

上記文字フォントの時間軸方向の大きさを  $L_{1h} / M$  ( $M$  は所定の正の整数であり、 $L_{1h} / M$  は正の整数である。) とし、

$N = 0, 1, \dots, M - 1$  とし、

ある放送番組の番組開始時刻が  $T_{sh}$  時  $T_{sm}$  分 ( $T_{sh} = 0, 1, \dots, 23$ 、 $T_{sm} = 0, 1, \dots, 59$ ) であるときに、

上記  $T_{sm}$  の値が、 $N \cdot 60 / M$  以上、 $(N + 1) \cdot 60 / M$  未満であれば、上記電子  
 番組表内における上記放送番組の表示領域の時間軸方向の開始位置を、 $T_{sh}$  時 0 分の位  
 置から長さ  $N \cdot L_{1h} / M$  だけ時間軸正方向に移動した位置とする表示領域生成ルールに  
 したがって、放送番組ごとの表示領域の時間軸方向の位置と大きさを規定すること

を特徴とする番組情報処理装置。

【請求項 2】

時間的に先の放送番組と、上記先の放送番組の次の放送番組との間に放送番組が存在し  
 ない時間がある場合、

上記番組表示領域規定手段は、

上記先の放送番組の番組終了時刻に基づいて、上記先の放送番組の表示領域の時間軸方向の番組終了位置を規定すること

を特徴とする請求項 1 に記載の番組情報処理装置。

【請求項 3】

上記番組表示領域規定手段は、

上記電子番組表の時間軸方向における 1 時間の長さを  $L_{1h}$  とし、

上記文字フォントの時間軸方向の大きさを  $L_{1h} / M$  ( $M$  は所定の正の整数であり、 $L_{1h} / M$  は正の整数である。) とし、

$N = 0, 1, \dots, M - 1$  とし、

ある放送番組の番組終了時刻が  $T_{sh}$  時  $T_{sm}$  分 ( $T_{sh} = 0, 1, \dots, 23$ 、 $T_{sm} = 0, 1, \dots, 59$ ) であるときに、

上記  $T_{sm}$  の値が、 $N \cdot 60 / M$  以上、 $(N + 1) \cdot 60 / M$  未満であれば、上記電子番組表内における上記放送番組の表示領域の時間軸方向の終了位置を、 $T_{sh}$  時 0 分の位置から長さ  $N \cdot L_{1h} / M$  だけ時間軸正方向に移動した位置とする表示領域生成ルールにしたがって、放送番組ごとの表示領域の時間軸方向の位置と大きさを規定すること

を特徴とする請求項 2 に記載の番組情報処理装置。

【請求項 4】

上記番組開始位置と上記番組終了位置が一致する場合、

上記番組表示領域規定手段は、

上記時間軸方向の大きさが  $L_{1h} / M$  の表示領域を設定すること

を特徴とする請求項 3 に記載の番組情報処理装置。

【請求項 5】

上記電子番組表作成手段は、

上記表示領域内に文字同士が重ならずに表示可能な文字数を計算し、上記計算対象の表示領域に関連する番組文字情報から上記計算された文字数の文字を抽出して、上記計算対象の表示領域内に挿入すること

を特徴とする請求項 1 から 4 までのいずれかに記載の番組情報処理装置。

【請求項 6】

上記電子番組表作成手段は、

異なる 2 つ以上の放送番組についての表示領域が重なる場合、

上記異なる 2 つ以上の放送番組についての表示領域内に上記異なる 2 つ以上の放送番組の中の一つの放送番組の番組文字情報に基づく文字を挿入するとともに、

上記異なる 2 つ以上の放送番組についての表示領域内に未表示の他の番組文字情報が存在することを識別可能にする表示がなされるように、上記電子番組表の表示用データを生成すること

を特徴とする請求項 1 から 5 までのいずれかに記載の番組情報処理装置。

【請求項 7】

上記電子番組表作成手段は、

大きさの異なる複数種類の文字フォントを有し、上記表示領域の大きさと上記表示領域内に表示すべき文字数とに基づいて、使用される文字フォントを選択すること

を特徴とする請求項 1 から 6 までのいずれかに記載の番組情報処理装置。

【請求項 8】

放送番組に関する番組情報を取得する工程と、

上記取得された番組情報に含まれる番組開始時刻及び番組終了時刻の少なくとも一方と、上記取得された番組情報に含まれる番組文字情報を表示するために用いる文字フォントの大きさとに基づいて、上記番組文字情報を表示するための表示領域の時間軸方向の位置と大きさを放送番組ごとに規定する工程と、

上記規定された表示領域内に上記番組文字情報に基づく文字が挿入された電子番組表の表示用データを生成する工程と

を有し、

上記表示領域の時間軸方向の位置と大きさを規定する工程において、  
上記電子番組表の時間軸方向における1時間の長さを $L_{1h}$ とし、  
上記文字フォントの時間軸方向の大きさを $L_{1h}/M$  ( $M$ は所定の正の整数であり、 $L_{1h}/M$ は正の整数である。)とし、  
 $N = 0, 1, \dots, M - 1$ とし、  
ある放送番組の番組開始時刻が $T_{sh}$ 時 $T_{sm}$ 分 ( $T_{sh} = 0, 1, \dots, 23$ 、 $T_{sm} = 0, 1, \dots, 59$ ) であるときに、  
上記 $T_{sm}$ の値が、 $N \cdot 60 / M$ 以上、 $(N + 1) \cdot 60 / M$ 未満であれば、上記電子番組表内における上記放送番組の表示領域の時間軸方向の開始位置を、 $T_{sh}$ 時0分の位置から長さ $N \cdot L_{1h} / M$ だけ時間軸正方向に移動した位置とする表示領域生成ルールにしたがって、放送番組ごと表示領域の時間軸方向の位置と大きさを規定すること  
 を特徴とする番組情報処理方法。

【請求項9】

上記表示領域の時間軸方向の位置と大きさを規定する工程において、  
時間的に先の放送番組と上記先の放送番組の次の放送番組との間に放送番組が存在しない時間がある場合、  
上記先の放送番組の番組終了時刻に基づいて、上記先の放送番組の表示領域の時間軸方向の番組終了位置を規定すること  
 を特徴とする請求項8に記載の番組情報処理方法。

【請求項10】

上記表示領域の時間軸方向の位置と大きさを規定する工程において、  
上記電子番組表の時間軸方向における1時間の長さを $L_{1h}$ とし、  
上記文字フォントの時間軸方向の大きさを $L_{1h}/M$  ( $M$ は所定の正の整数であり、 $L_{1h}/M$ は正の整数である。)とし、  
 $N = 0, 1, \dots, M - 1$ とし、  
ある放送番組の番組終了時刻が $T_{sh}$ 時 $T_{sm}$ 分 ( $T_{sh} = 0, 1, \dots, 23$ 、 $T_{sm} = 0, 1, \dots, 59$ ) であるときに、  
上記 $T_{sm}$ の値が、 $N \cdot 60 / M$ 以上、 $(N + 1) \cdot 60 / M$ 未満であれば、上記電子番組表内における上記放送番組の表示領域の時間軸方向の終了位置を、 $T_{sh}$ 時0分の位置から長さ $N \cdot L_{1h} / M$ だけ時間軸正方向に移動した位置とする表示領域生成ルールにしたがって、放送番組ごとの表示領域の時間軸方向の位置と大きさを規定すること  
 を特徴とする請求項9に記載の番組情報処理方法。

【請求項11】

上記番組開始位置と上記番組終了位置が一致する場合、  
上記表示領域の時間軸方向の位置と大きさを規定する工程において、  
上記時間軸方向の大きさが $L_{1h}/M$ の表示領域を設定すること  
 を特徴とする請求項10に記載の番組情報処理方法。

【請求項12】

上記電子番組表の表示用データを生成する工程において、  
上記表示領域内に文字同士が重ならずに表示可能な文字数を計算し、上記計算対象の表示領域に関連する番組文字情報から上記計算された文字数の文字を抽出して、上記計算対象の表示領域内に挿入すること  
 を特徴とする請求項8から11までのいずれかに記載の番組情報処理方法。

【請求項13】

上記電子番組表の表示用データを生成する工程において、  
異なる2つ以上の放送番組についての表示領域が重なる場合、  
上記異なる2つ以上の放送番組についての表示領域内に上記異なる2つ以上の放送番組の中の一つの放送番組の番組文字情報に基づく文字を挿入するとともに、上記異なる2つ以上の放送番組についての表示領域内に未表示の他の番組文字情報が存在することを識別可能にする表示がなされるように、上記電子番組表の表示用データを生成すること

を特徴とする請求項 8 から 1 2 までのいずれかに記載の番組情報処理方法。

【請求項 1 4】

上記電子番組表の表示用データを生成する工程において、

上記表示領域の大きさと上記表示領域に表示すべき文字数とに基づいて、大きさの異なる複数種類の文字フォントの中から使用される文字フォントを選択することを特徴とする請求項 8 から 1 3 までのいずれかに記載の番組情報処理方法。